

## 重点目標の達成についての評価

＜評価指標＞ 岡山市基本健康診査結果

### 重点目標

- (1) 健康診査で血圧が高値の人の割合の減少
- (2) 健康診査で総コレステロールが高値の人の割合または善玉コレステロール（HDL）が低値の人の割合の減少
- (3) 健康診査で血糖が高値の人の増加割合の減少

評価基準：(1) 収縮期 160mmHg 以上または拡張期 95mmHg 以上

(2) 総コレステロール 240mg/dl 以上

または HDL コレステロール 39mg/dl 以下

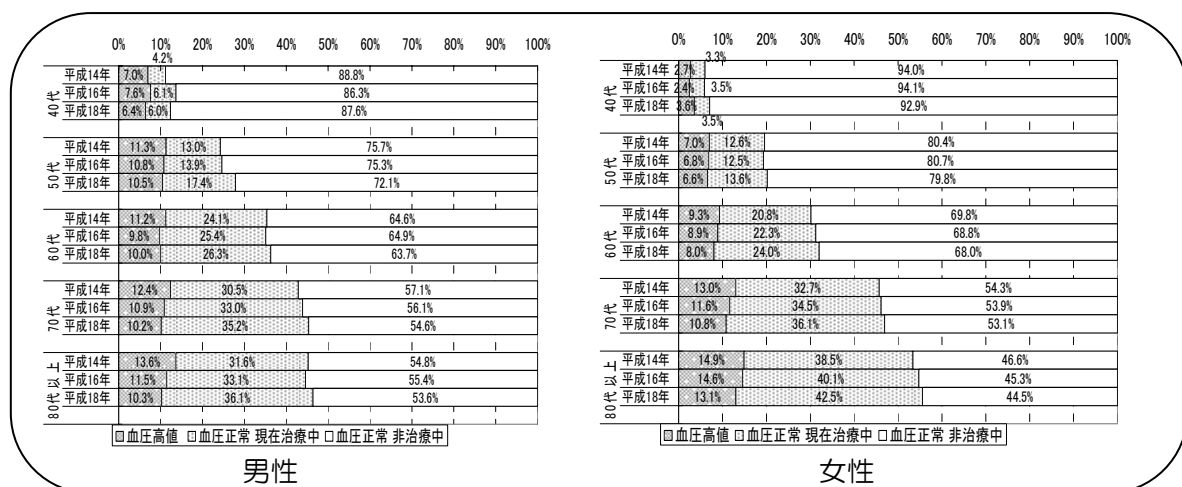
(3) 空腹時血糖値 110mg/dl 以上または随時血糖値 140mg/dl 以上

### 現状と課題

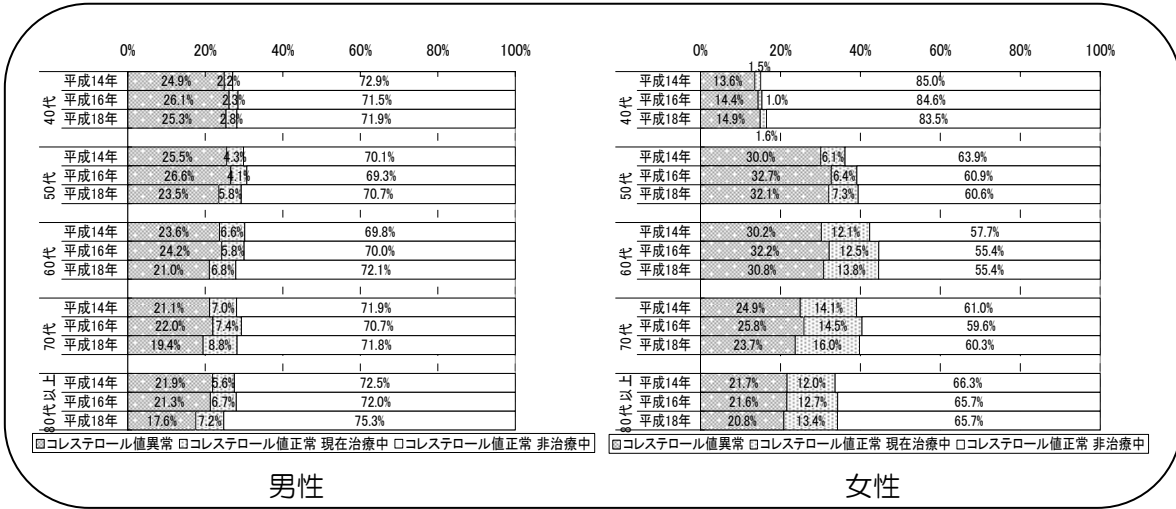
- (1) 健診時に血圧が高値の人の割合は減少傾向。（図 1）
- (2) 健診時にコレステロール異常の人の割合はおおむね横ばい～減少傾向。（図 2）
- (1)(2)とも健診時には異常値ではないものの治療中である割合は増加傾向。
- (3) 健診時に血糖が高値の人の割合はおおむね横ばい。（図 3）

検査成績は目標値に達成していますが、一方で治療中の方は増加しています。生活習慣の見直しや改善により、生活習慣病予防をはかることが大切です。

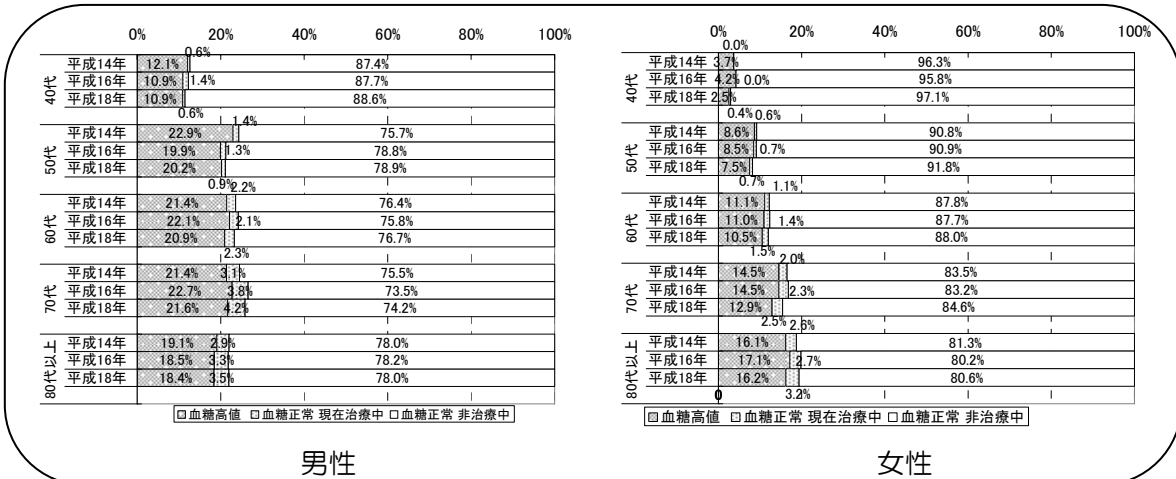
### 血圧高値の割合



## コレステロール値異常の割合



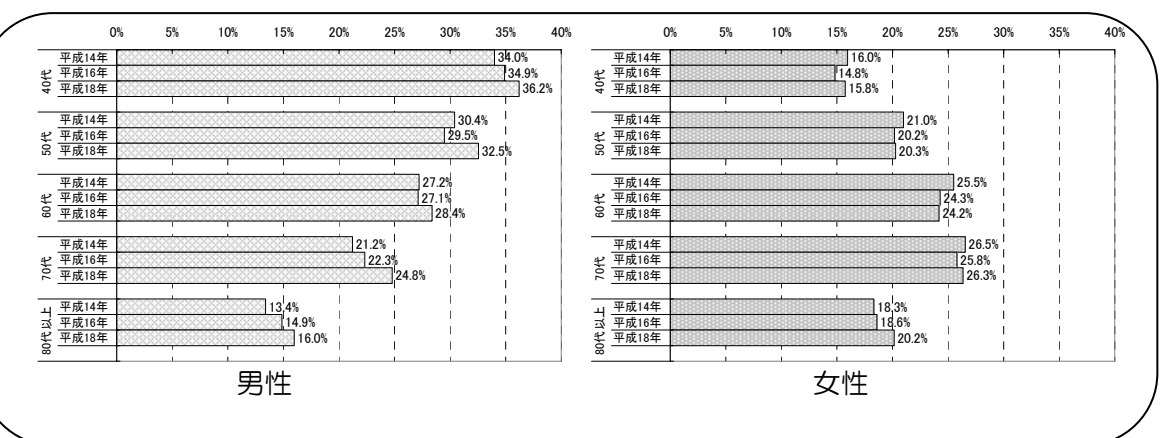
## 血糖高値の割合



## 現状と課題

男性はすべての年代で肥満の増加が目立ちます。  
とくに40~50代の男性は3割以上が肥満でした。

## 肥満 (BMI 25以上) の割合



## 指標の達成状況

(達成度：◎目標値に達成 ○改善 △ほぼ変化なし ×悪化)

	策定時	現状値	目標値	達成度
肥満者(BMI25以上)の割合	22%	24%	18%	×

データ出典 ※1 基本健康診査

(すべての指標、目標値、達成状況、データの出典の詳細はP.115から掲載しています)

## メタボリックシンドローム

内臓脂肪型肥満と血圧高値、血糖高値、血中脂質異常の状態が重なると動脈硬化を引き起こしやすくなります。  
動脈硬化がすすむと、心筋梗塞、狭心症、脳梗塞などの病気を引き起こしますので早めからの注意が必要です。

### メタボリックシンドローム 診断基準\*

#### 内臓脂肪型肥満

腹囲 男性85cm以上 女性90cm以上  
(内臓脂肪の面積 100cm<sup>2</sup>以上)

+

#### 血圧高値

収縮期血圧130mmHg以上 または  
拡張期血圧85mmHg以上

#### 高血糖

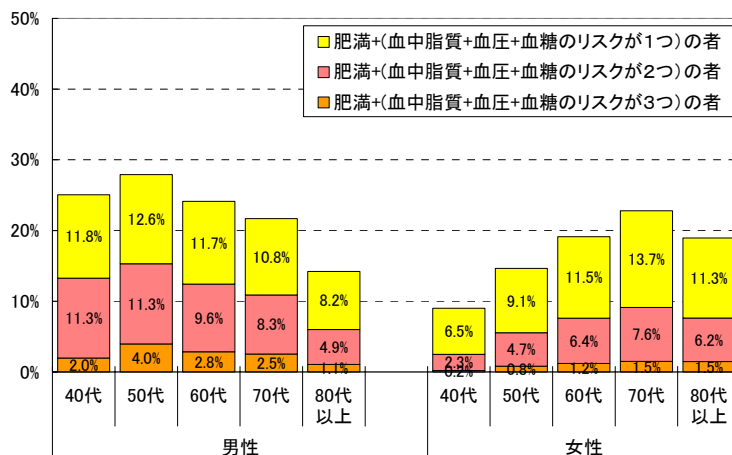
空腹時血糖 110mg/dl以上

#### 血中脂質異常

中性脂肪 150mg/dl以上 または  
HDL(善玉コレステロール) 40mg/dl未満

2つ以上を合わせもつ場合

(※2005年 日本動脈硬化学会・日本肥満学会・日本高血圧学会・日本内科学会・日本糖尿病学会・日本循環器学会・日本腎臓学会・日本血栓止血学会)



BMI25以上の肥満プラス血中脂質、血圧、血糖いずれかのリスクを有する割合(平成18年度岡山市基本健康診査)